

**株式会社ハニーズホールディングス
2020年5月期第2四半期決算説明会**

Honeys Holdings

2020年1月7日(火)

2020年5月期第2四半期(累計)決算のポイント Honeys

①国内事業: 堅調に推移し増収増益。客数増加、値引き販売減少による粗利益率改善等が要因

- ⇒ 天候不順、自然災害、10月の消費増税導入等もありアパレル市場が低迷する中、全店前年比102.1%、既存店前年比102.0%で着地
- ⇒ 価格とクオリティのバランスがお客様の支持を受け、客数の増加が継続、値引き販売が減少し、粗利益率は56.8%から58.5%に改善。販売管理費も前期比微増に抑制で増収増益
- ⇒ ブランド別売上では、定番のシネマクラブの伸長、コルザの復調が牽引

②EC事業: 売上高は64.5%増加。EC化率は前年通年の3.7%から5.3%に拡大

- ⇒ 足下も順調に売り上げを伸ばしており、今期の売上高は前期比50%増の27億円を予定
- ⇒ 2022年5月期のEC売上高50億円、EC化率10%を展望

③連結: ミャンマー、中国ともに損益はほぼ予定通りの推移

- ⇒ ミャンマーは、縫製自動機器の導入を進め、更なる生産効率化を図る
- ⇒ 中国は12月に清算終了

2020年5月期第2四半期決算概要(日本セクター) Honeys

(単位:百万円)

	18/11		19/11		
		構成比		構成比	前期比
売上高	23,679	100.0%	24,169	100.0%	102.1%
売上総利益	13,455	56.8%	14,136	58.5%	105.1%
販管費	11,488	48.5%	11,713	48.5%	102.0%
うち人件費	4,781	20.2%	4,883	20.2%	102.2%
うち店舗使用料	3,063	12.9%	2,990	12.4%	97.6%
営業利益	1,967	8.3%	2,422	10.0%	123.1%
営業外損益	158	0.7%	57	0.2%	36.2%
うち為替差損益	98	0.4%	▲21	▲0.1%	—%
経常利益	2,126	9.0%	2,479	10.3%	116.6%
純利益	1,258	5.3%	1,625	6.7%	129.2%

(注)特別損失として、固定資産除却損24百万円・内装撤去費21百万円・減損損失11百万円等、計71百万円を計上しております。

2020年5月期第2四半期決算概要(連結)

Honeys

(単位:百万円)

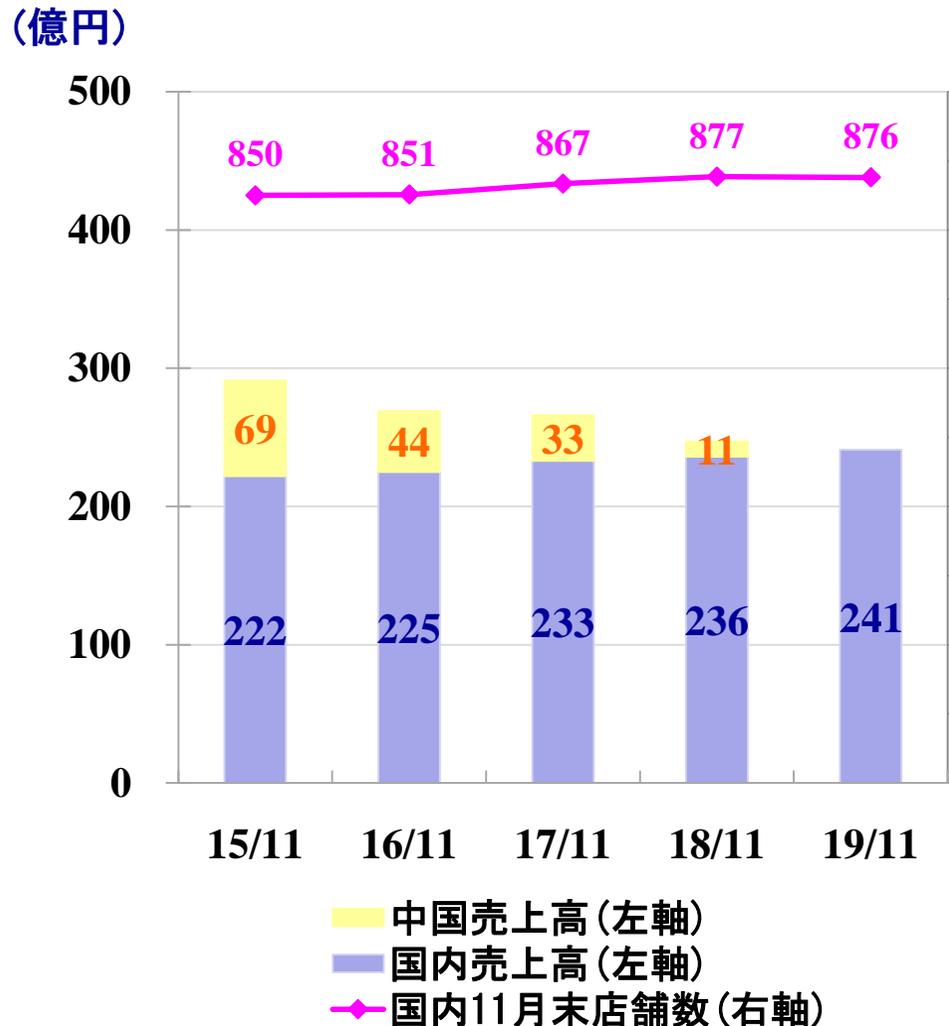
	18/11		19/11			
		構成比		構成比	前期比	期初計画
売上高	24,782	100.0%	24,169	100.0%	97.5%	24,500
売上総利益	13,994	56.5%	14,173	58.6%	101.3%	14,100
販管費	12,380	50.0%	11,757	48.6%	95.0%	11,900
うち人件費	5,142	20.8%	4,906	20.3%	95.4%	—
うち店舗使用料	3,295	13.3%	2,992	12.4%	90.8%	—
営業利益	1,613	6.5%	2,416	10.0%	149.7%	2,200
営業外損益	64	0.3%	▲30	▲0.1%	—%	—
うち為替差損益	▲73	▲0.3%	▲122	▲0.5%	—%	—
経常利益	1,678	6.8%	2,385	9.9%	142.2%	2,250
親会社株主に帰属する 当期純利益	964	3.9%	1,944	8.0%	201.7%	1,400

(注1)連結決算は、決算調整のため個別決算の合計とは一致いたしません。

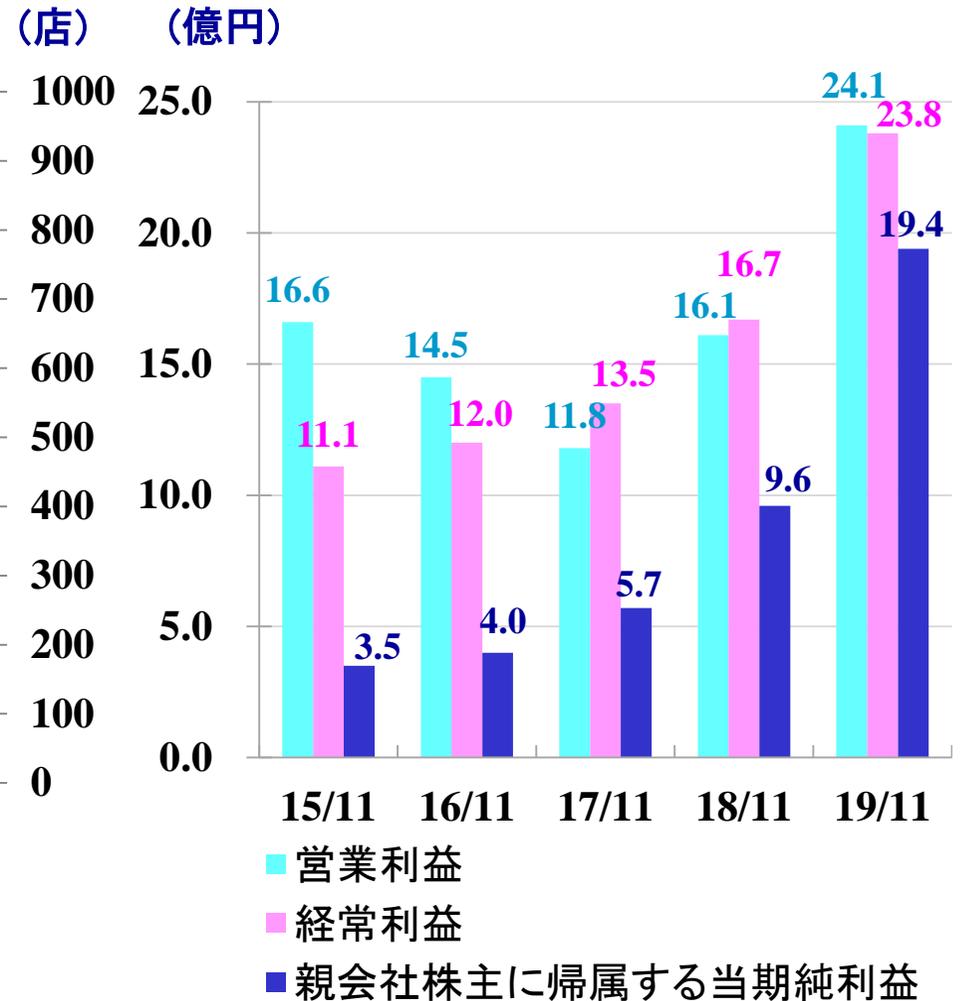
(注2)特別損失として、固定資産除却損46百万円・減損損失11百万円等、計71百万円を計上しております。

2020年5月期第2四半期決算概要(連結業績推移) Honeys

売上高・店舗数の推移



利益の推移



売上高241億円（前期比97.5%）

※前期には中国売上11億2百万円を含む

国内241億円（前期比102.1%）

- **国内 新規出店18店舗（前期14店舗）**
退店7店舗（前期7店舗）
19/11期末 876店舗（18/11期末 877店舗）
- **国内 既存店売上高前年比**

1Q	104.1%	2Q	100.0%
上期	102.0%		

客数・客単価(日本セクター)

Honeys

(前期比%)

		16/11	17/11	18/11	19/11
全店 (直営店)	売上	101.2	103.5	101.8	102.1
	客数	107.8	102.1	102.8	101.4
	客単価	93.9	101.4	99.0	100.7
	I単価	91.4	98.1	97.9	103.7
	一人あたり買上点数	102.7	103.3	101.1	97.2
既存店	売上	101.3	101.7	101.1	102.0
	客数	107.9	100.3	102.2	101.2
	客単価	93.8	101.4	99.0	100.7
	I単価	91.1	97.7	97.5	103.4
	一人あたり買上点数	102.9	103.7	101.4	97.4

ブランド別売上高(日本セクター)

Honeys

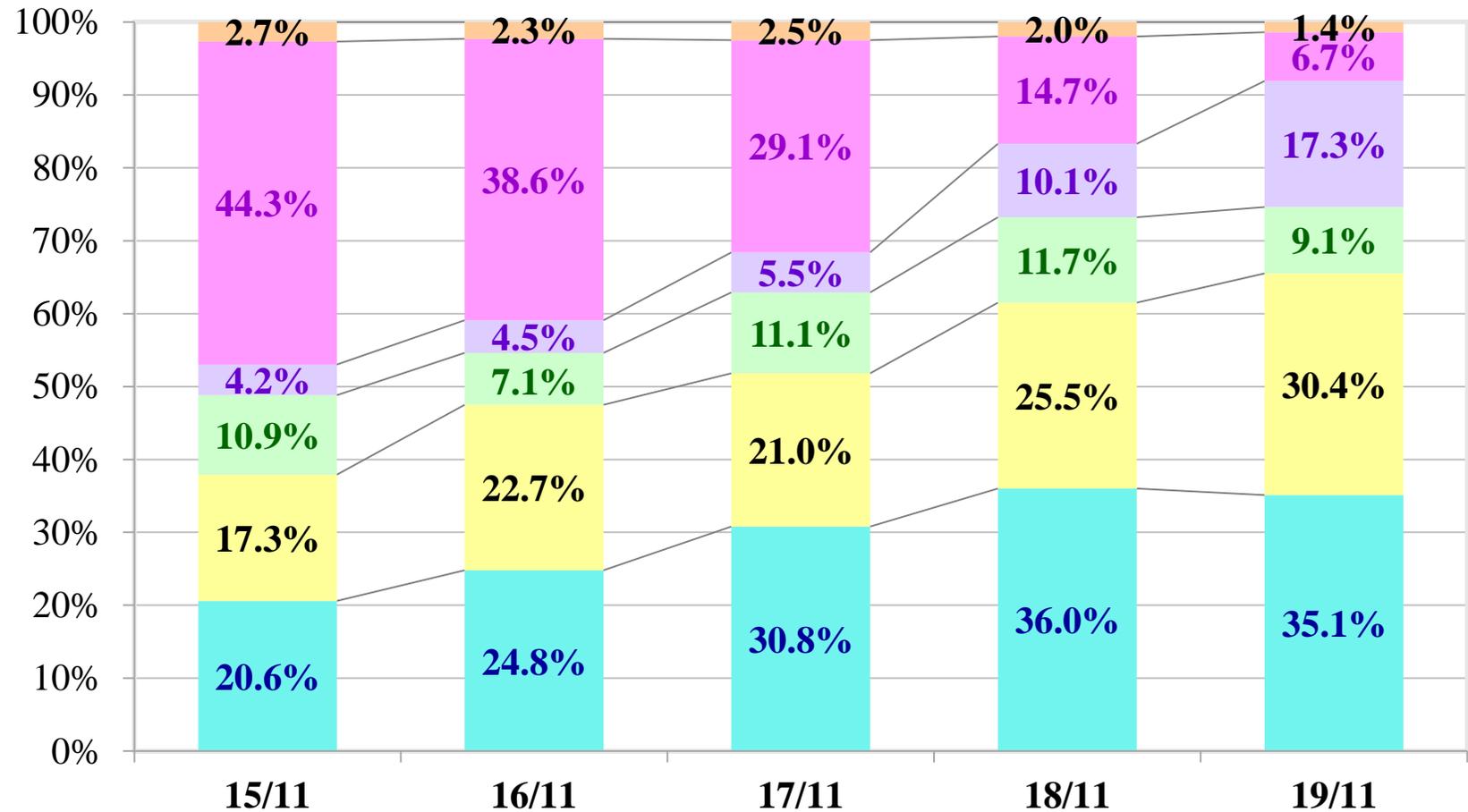
(単位:百万円)

	18/11		19/11		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
シネマクラブ	6,554	27.6%	6,907	28.6%	105.5%
コルザ	6,180	26.1%	6,524	27.0%	105.6%
グロシア	8,141	34.4%	8,100	33.5%	99.5%
その他	159	0.7%	104	0.4%	65.6%
雑貨	2,644	11.2%	2,536	10.5%	95.9%
合計	23,670	100.0%	24,173	100.0%	102.1%

(注)ブランドコンセプトの見直しにより、遡及修正しております(概算ベース)。

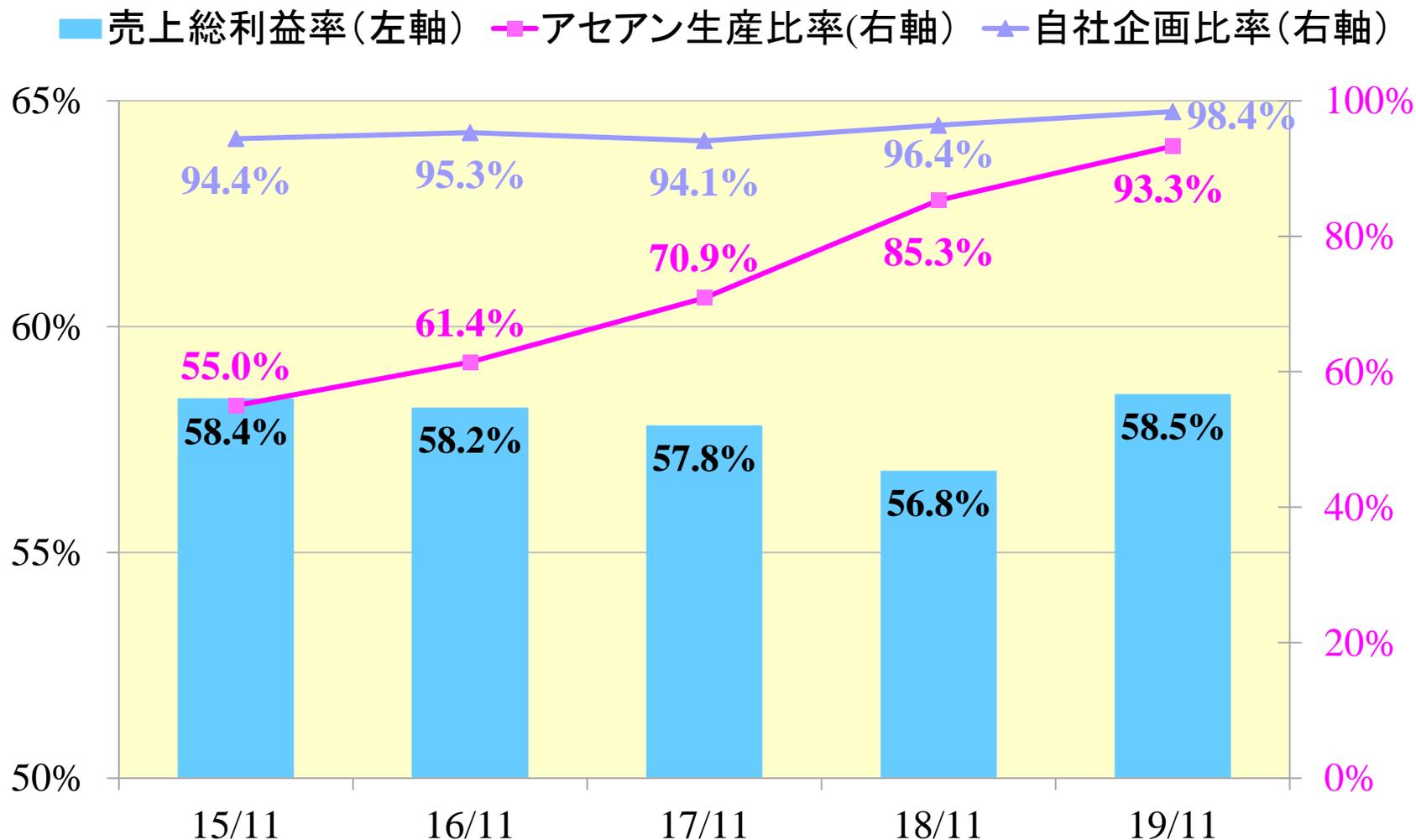
生産国別仕入状況(日本セクター・洋服のみ)

Honeys



■ ミャンマー ■ バングラデシュ ■ ベトナム ■ カンボジア ■ 中国 ■ その他(インドネシア・インド・日本)

売上総利益率と自社企画比率の推移(日本セクター) Honeys



(注) 自社企画比率(海外生産)は、概算ベースで記載しております。

販管費対売上高構成比(日本セクター)

Honeys

(売上比%)

	15/11	16/11	17/11	18/11	19/11
人件費	20.3	20.2	21.0	20.2	20.2
店舗費	23.2	22.6	22.0	21.5	20.8
減価償却費	1.9	1.7	2.1	1.7	1.8
その他	6.0	6.5	5.4	5.1	5.7
販管費計	51.4	51.0	50.5	48.5	48.5

(注)店舗費は広告宣伝費や水道光熱費等も含めた管理上の数値を記載しております。

貸借対照表(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	18/11		19/11		
		構成比		構成比	前期比
総資産	37,665	100.0%	40,717	100.0%	108.1%
流動資産	20,861	55.4%	23,480	57.7%	112.6%
固定資産	16,803	44.6%	17,236	42.3%	102.6%
流動負債	3,898	10.3%	3,739	9.2%	95.9%
固定負債	2,547	6.8%	2,553	6.3%	100.2%
純資産	31,219	82.9%	34,424	84.5%	110.3%

・流動比率 : 18/11期 535.1% ⇒ 19/11期 627.9%

・自己資本比率 : 18/11期 82.9% ⇒ 19/11期 84.5%

キャッシュフロー計算書(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	18/11	19/11	
			増減額
営業活動によるキャッシュフロー	1,456	1,698	242
投資活動によるキャッシュフロー	▲495	▲885	▲389
財務活動によるキャッシュフロー	▲530	▲560	▲30
現金及び現金同等物の増減額	372	224	▲147
現金及び現金同等物の期首残高	8,235	11,398	3,163
現金及び現金同等物の期末残高	8,607	11,622	3,015

- ▶ 営業活動：税金等調整前当期純利益の増加等
- ▶ 投資活動：有形固定資産の取得等

2020年5月期業績見通しと方針

2020年5月期業績見通し

Honeys

①連結業績見通しは、上期実績、足下の環境を踏まえ修正。
売上は若干のマイナス、営業利益・経常利益は据置き、純利益は上振れ。

⇒ 売上高	495億円 (500億円)	カッコ内は当初業績見通し
営業利益	50億円 (50億円)	
経常利益	51億円 (51億円)	
純利益	42億円 (32億円) ※関係会社清算益等を含む	

②例年業績が厳しい第3四半期をいかに乗り切り、
ハードルが高い第4四半期のパフォーマンスを確保できるかがポイント

- ⇒ 生地 of 厳選、縫製指導を徹底したミャンマー自社工場を中心とした品質重視の商品投入により客数確保に注力
- ⇒ 適時の値下げと適正在庫の維持に努める

③業績見通しの前提について

- ⇒ 国内 既存店売上高:下期前期比 100.0% (通期同 101.0%)
※出退店計画 国内: 出店 35、退店 20、期末 880店舗
※出店は期初計画の25店舗から10店舗増

①日本：品質と価格にこだわった商品等投入を心掛け、幅広い年代からの集客を目指す

- 伸長著しいシネマクラブ、復調したコルザに加え、グラシアの3ブランドで幅広い年代からの集客を引き続き目指す
- 売場リフレッシュ活動展開による不振店舗でのこ入れを継続して実施
- バーゲン時期の適切な値下げおよび適正在庫の維持を図る
- EC売上実績は、計画比プラス。今期売上27億円を目指す

②ミャンマー：生産性の向上と物流倉庫機能の有効活用

- 縫製自動機器の導入を進め、更なる生産性向上を目指す
- 増設した商品の一次保管倉庫を有効活用し、物流機能の充実を図る

2020年5月期業績見通し(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	上期実績	下期予想			通期予想				期初計画
		19/5	20/5	前期比	19/5	20/5	増減	前期比	
売上高	24,169	24,946	25,330	101.5%	49,728	49,500	▲ 228	99.5%	50,000
売上総利益	14,173	14,695	14,826	100.9%	28,690	29,000	309	101.1%	28,900
販管費	11,757	11,783	12,242	103.9%	24,164	24,000	▲ 164	99.3%	23,900
営業利益	2,416	2,912	2,583	88.7%	4,525	5,000	474	110.5%	5,000
経常利益	2,385	2,983	2,714	91.0%	4,661	5,100	438	109.4%	5,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,944	2,215	2,255	101.8%	3,179	4,200	1,020	132.1%	3,200

※年間配当は1株当たり40円(中間配当20円、期末配当20円)を予定しております。

(注1)連結決算は、決算調整のため個別決算の合計とは一致いたしません。

(注2)特別損失として、固定資産除却損75百万円、減損損失116百万円等、計192百万円を見込んでおります。

2020年5月期設備投資計画

Honeys

(単位:百万円)

	19/5		20/5(修正予想)		
		構成比		構成比	前期比
日 本	1,367	98.7%	2,100	95.5%	153.6%
中 国 子 会 社	—	—%	—	—	—%
ミャンマー子会社	17	1.3%	100	4.5%	561.2%
合 計	1,385	100.0%	2,200	100.0%	158.8%
減価償却費	847	—	1,100	—	129.8%

▶出店計画：国内新規出店35

決算補足資料

ブランド紹介

Honeys

GLACIER 大人系



ノーカラーコート 4,980円
裾レイヤードプルオーバー... 1,780円
ストレートパンツ 2,680円
チェック柄ストール 1,680円

CINEMA CLUB ベーシック



ケーブル編オフタートル 1,980円
コーデュロイワイドパンツ..... 2,480円
ファーショルダーBag 1,980円
モチーフ付パンプス..... 1,980円

COLZA ヤング系



ファイバーダウンブルゾン ... 3,980円
あったかリブ編タートル 1,780円
チュールスカート..... 2,680円
スカーフ付Bag 2,480円
ウエスタンブーツ 2,980円

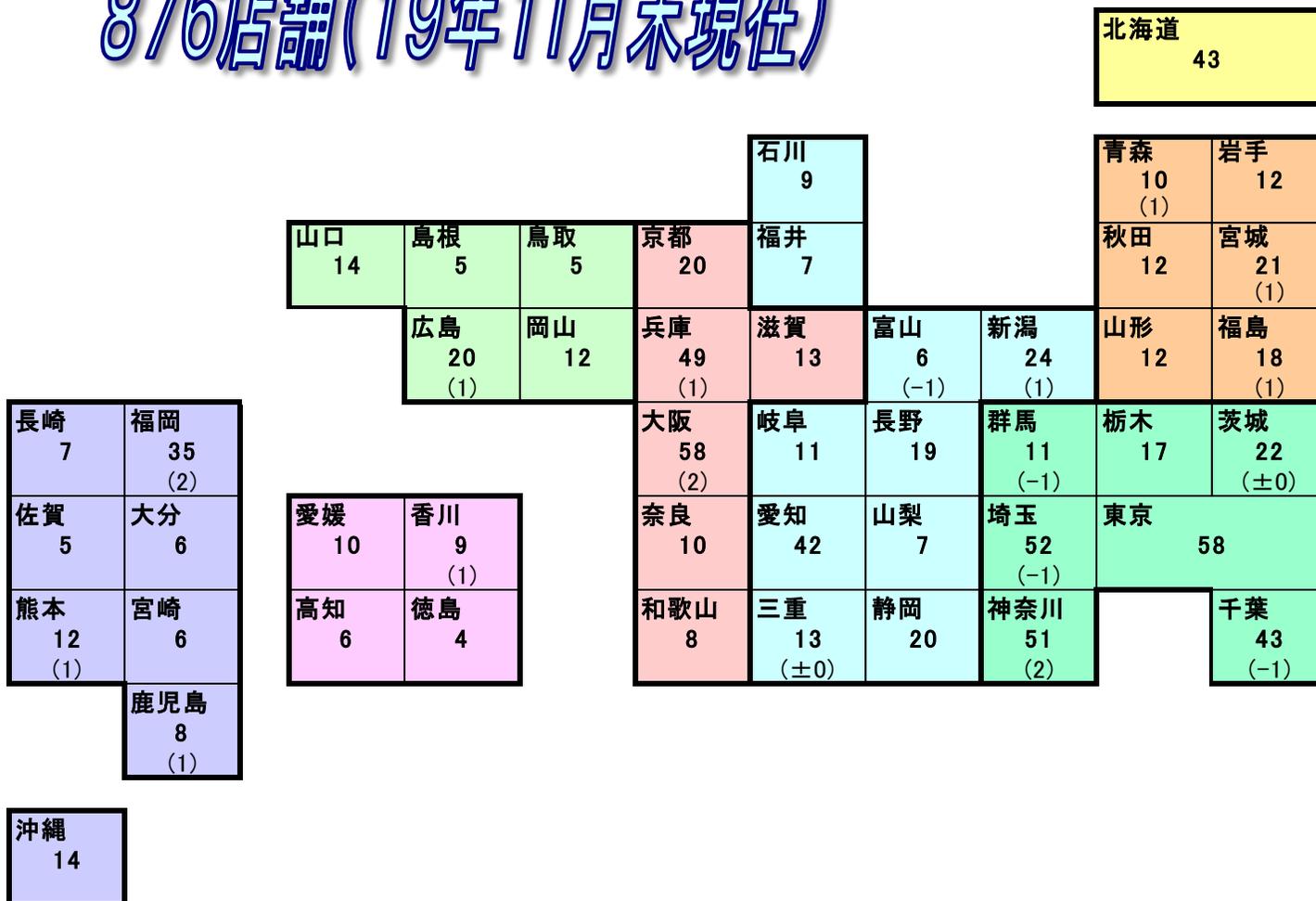
店舗網

Honeys

876店舗(19年11月末現在)

地域	店舗数
北海道	43 (-)
東北	85 (3)
関東	254 (-1)
北陸・中部	158 (±0)
近畿	158 (3)
中国	56 (1)
四国	29 (1)
九州	93 (4)
計	876 (11)

19年11月末現在



(注) 括弧内は19年5月末からの増減数
18店舗出店、7店舗退店「純増11店舗」

最近の店舗紹介

Honeys



ハニーズ イオンモール福岡店(福岡県)



ハニーズ 大阪ドームシティ店(大阪府)

最近の店舗紹介

Honeys



ハニーズ イオンモール八幡東店(福岡県)



ハニーズ 国領店(東京都)

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている株式会社ハニーズホールディングスの将来に関する見通しは、過去の事実ではないために不確定になるリスク要因を含んでおります。

従って、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ということをご了承ください。

その他留意事項

資料内数値は百万円未満切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。